

290) 約束

カエド ルージュ であなたを待つと ラッシュアワーの群れがすぎてく
人それぞれに愛の温もり 待ってる場所に帰ってゆくわ
愛の形が見つからなくて わたし迷子の仔羊みたい
街はいつでも恋の戸惑い 愛のためらい行き来している
わたしの愛は炎のように 寒さの中で燃え上がるだけ

れんがどお 煉瓦通りに降り行く雨は わたしの涙のせいなのかしら
クリスマスには必ず逢おうと あの時ふたり約束したの
だから今夜は薄化粧して あなたを待つ思い出の店で
都会の夜はいつも気まぐれ 出逢いと別れが駆け引きしてる
愛ひとすじに生きてくことが 女の性さが さだめの宿命でしょうか

窓の向こうは人波ひとなみとぎれ 年に一度のイブが過ぎてく
あなた来ないと知ってたけれど わたしは来たの愛してたから
家に帰った今夜のあなた サンタクロースを演やってるかしら
裏切らないのは歳月ときの流れと 凍る季節の北風ばかり
愛する人に家族があれば どんな愛でも不倫でしょうか

許される愛許さぬ愛 人の世だけのまやかしみたい
愛は愛なの生きてる証あかし 私にとって尊いものなの
哀しみだけを道ずれにして あなたを愛しわたし生きるわ
愛にルールを作った日から 悲しい女の愛が始まる
愛にルールもモラルもないわ 愛は愛なの愛することなの

→